



ブンブンは今日も行く！

通信

No.3 2013年10月

発行 **はちみつ會**

ホームページ <http://hachimitsukai.jimdo.com/>

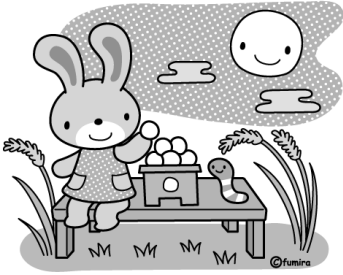
寄付金振込先：ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行から 00150-8-711082

他行から 〇一九支店 当座 0711082

いずれも口座名義：ハチミツカイ

9/14~16「福島親子・町田の森あそびツアー第2弾」 たくさんのあたたかいご協力、ありがとうございました！



はちみつ会主催の「福島親子・町田の森あそびツアー第2弾」が、無事に終わりました。心をお寄せくださった皆様のおかげです。沢山の暖かいご協力をお寄せくださった皆様、約80人のボランティアの皆様、そして、貴重な休日に町田に来てくださった40人の福島の皆様、本当にどうもありがとうございました。

私たちは、5月に1回目の「福島親子・町田の森あそびツアー」を行ないました。準備を進める中で、「この活動は、継続していくことが大事なんだ」と思ったこと、そして、多くの方々と心を寄せ合って楽しい休日を作り出す体験が出来たことが、第2回目のツアーを秋に行なうことにつながりました。仲間も2人、増えました。

夏には、2回目のリフレッシュツアーのチラシ配布のために、福島に行きました。そこで、1回目のツアーに参加して下さった方々と会っておしゃべりしたこと。川俣町で浪江町の職員として働いている方のお話をうかがったこと。二本松で仮設住宅に行きまして聞いたお話。

そして、段々と減っていく福島の新聞記事を読みながら、メンバーそれぞれがいろんな思いを感じつつ、準備を進めてきました。

町田市の後援も頂き、多くのボランティアの方々とは再びお会いでき、一緒に遊んだり、ご飯を作ったりする事が出来て、とてもとても心強かったです。どうもありがとうございました。

更に、新しい縁が出来て、台風の影響を受けての休日を助けて下さった皆さんの頼もしさや、元気で大人気の大学生ボランティアの明るさが、この休日を盛り立てて下さいました。どうもありがとうございました。

福島の現状は、私たちが知る限りでも厳しい現実があります。それに対して、この短い休日を提供する私たちの活動は、ちいसानなものだと思います。保養に関してもいろんな考えがあります。ただ、「こうすればいい」という正解ではなく、“一緒に過ごす”ことを積み重ねていく中でわかること、見えてくるものを大切にしていきたいと思います。

雨が上がり、帰りのバスが出発する時の、バスから聞こえた福島の皆さんの声が忘れられません。本当にこのツアーにご参加して下さって、嵐の中、一緒にツアーを作ってくれたこと、とても感謝しています。ありがとうございました。

はちみつ會



9/14
どうぶ

やった！晴れたよ！！子どもたちは思いっきり外遊び

14 時頃に福島 of 皆さんが大地沢に到着し、子供たちはさっそく、外遊び！！台風の影響により外で遊ぶのは難しいかなぁと不安もありましたが、子供たちや我々の強い思いが届き、無事晴れてくれました。鬼ごっこや、おままごと、砂遊び、川遊び……、一人一人が思うままに、自由に遊ぶことができましたと思います。バスでの長旅だったのにも関わらず、疲れた様子ひとつ見せず、常に走り回っていました。子供たちの体力には学生の私でもお手上げでした（笑）また、今回もラ・リチェッタさんがジェラートを持ってきてくださり、外で仲良くいただきました。何回もおかわりしていたのが印象的でした♪ 子供たちの笑顔に癒される1日となりました。（木暮）



雨にも負けず、走りまわりました

台風 of 接近に伴い、朝から雨の降りしきる中でしたが、子どもたちはホールで元気にあそびました。

はじめは、それぞれが自由にホール内を走り回る中で、ボランティアの皆さんと一緒に鬼ごっこをしたりしていましたが、やがてホールにビニールテープでコートを作ると、大きいお友だちも小さいお友だちも一緒になって、

夢中でドッジボールを楽しみました。もちろん小さい子には優しくボールを投げてあげたり、パスを回してあげたりするなど、大きいお友だちのやさしさが見られました。

ドッジボールを存分に楽しんだ後は、バレーボールをしたり、再び鬼ごっこをしたりと遊びは止むことはありませんでした。途中で美味しいアイスをいただいたりして元気も補給しつつ、子どもたちは目いっぱい体を動かして遊ぶことが出来た様子でした。

また、午後には、きつねはらっぱさんが木工作の場所を広げてくださり、いろいろな端材を用いながら思い思いに木工作品を作ったり、風船を膨らませて投げ合ったりして遊んでいました。（山本）

「あいにくのお天気」のおかげで大盛況?! <制作コーナー>

制作コーナーでは、子供たちとは別に、お母さんたちにも楽しんでもらおうと「羊毛フェルトで小物作り」に挑戦しました。大人限定 of ハズが、女の子たちが集まる、集まる！！結局たくさんの順番待ちが出るほどの人気でした。ヘアゴムを作ったり、リンゴのブローチ、羊や雪だるまの人形など、とてもかわいらしい作品がたくさんできました。中にはご夫婦で共同作業の方も（^-^）

おしゃべりしながら楽しく…のはずが、よそ見をするとう「チクッ！！」と針を指に刺してしまうので、みなさん黙々と作っていましたよ。帰ったら、材料揃えてやってみよう！とおっしゃる方もいて大好評でした。（遠藤）



リゾート気分 with 大人のリフレッシュタイム<整体>

プロ of 整体師（整体処りら福、カラダノミカタ）さんが、体調（手足や腰などの痛み）を聞き、各人に合わせた施術。当日より、翌日、翌々日の方がより効果が実感出来るそうです。気持ち that 良く、雨音を

聞きながら、ウトウトしてしまったという方も。大人のリフレッシュタイムでした（ロッジの一室で施術を受けたので、リゾート気分になったのかも）。（森賀）

秋だ！お月見団子だぞ〜！！

秋だから、どうしてもお月見団子を作りたい！と、8月に入っては毎週末、お月見団子を試作した結果、はちみつ会のお月見団子は、白玉団子に決定しました。

「これなら、失敗しないもん」とかる〜く考えてましたが、子ども達のつくった白玉団子は、いやあ、すごかった。芸術でした！

子ども達とボランティアさんで、いくつかボールを囲んで、わいわいとおなじみの白玉団子を500個作ったのですが、丸くて可愛い白玉と共に、芸術作品と呼ばれた白玉様たちが、いっぱい出来上がりました。顔、花、車、人間、多分犬。

更に更に「こ、こんな白玉ゆでられるのは、多分最初で最後……」と感じ入ったのが、もうソフトボール大の大きさの白玉です。ゆでるのに20分かかりました、とほほ。

白玉好きとしては、白玉冥利に尽きる数々の逸品に関われてほんと幸せでした。そして、あんこ、きなこ、みたらしのおかげで、「芸術の秋」を堪能いたしました。（八木）



子どもも大人も引きこまりました<おはなしの会>

*お話*ウサギと月のミトン人形を両手にはめ、うさぎの表情を変えながら、うさぎと月のお話。ボードに貼った里や山の絵に人形を近づけて、耳の長いうさぎを置き、「里の話や山の話が聞きたくて耳が長くなった」というお話。面白かった。次のお話では、「暗ーい、暗ーい森の中から」と始まり、「暗ーい」を何回も聞いたけど、退屈しなかった。

*絵本*大きな絵本を使って読んでくれました。一人の時、そして、三人で読んだ時は、それぞれの役になってくれました。その時は、みんな少しずつ絵本に近づいて

しまいました。1丁目〜5丁目までの各国のパン屋さんの歌。歌いながら、いろいろな国のパン、挨拶の言葉や握手など、それぞれの振りをつけて動き、とても楽しかった。

*落語*高座で着物姿のお師匠さんのお話。「幽霊のお菊さん」。怖いもの見たさの人が、美しいお菊さんがお皿の数を数える姿を毎日のように見に行くと、日に日に見物人が多くなる。大人の話だが、楽しく聞けた。（森賀）



うさぎもいっしょに♪みんなで歌って踊ったよ！<キャンドルファイヤー>

夜には、キャンプファイヤーの代わりにキャンドルファイヤーを行ないました。大人も子どもも勢揃いで、薄暗いホールに集まり、参加者の皆さんが静かに見守る中で点火をしました。

少し落ち着いた雰囲気を楽しんだ後は、ギターやフルートの演奏に合わせて、みんなで歌を歌ったりおどったりしました。今回、はちみつ会の歌（？）に指定された「ぶんぶんぶん」を歌った後は、秋にぴったりの「うさぎ」。歌に合わせて、見覚えのある顔に着ぐるみを着たピンクのうさぎさんが突然飛び出してきたりと、楽しい演出もありました。さらに元気に「さんぽ」をうたった後は、楽し



いゲーム大会。歌とダンスに合わせて体を動かしながら「もうじゅうがり」をして、全員で仲間集めゲーム。最後にはぴったり全員が同じ数ずつのグループに分かれて座ることが出来ました。

そしてしめくりは、体を動かす「アブラハム」。はじめは簡単に思っていたふりつけが、次第に動かす場所が増えていって、最後には両手両足・頭とお尻を振りながらクルクル回って、何が何やら分からない程に。でも、みんな笑顔で楽しんでいられる様子で、楽しい雰囲気の下にキャンドルファイヤーを終えられました。(山本)

今回のお食事メニューを公開します！

今回も反省することが沢山あった食事でした。味付けについても、カレーなどは薄いとの意見あったりして、もっと味つけの確認をしないといけないなあと思いました。福島の皆様、ごめんなさい。

とにかくいろいろありましたが、調理にボランティアさんが沢山来てくださったからこそ、みなさんに料理を提供することができたのです。ボランティアの皆様、本当に本当にありがとうございました。(こきつ かってごめんなさいね) またお会いいたしましょうね。(松田)



- *9/14 (夜) 貝たくさんカレー、サラダ、みかんゼリー、福神漬け
- *9/15 (朝) ごはん、味噌汁、厚揚げ、納豆、梨のヨーグルト
- (昼) 焼そば、中華スープ、さつまいもの甘煮、果物
- (夜) すき焼き風どんぶり、コーンスープ、酢の物、果物
- *9/16 (朝) パン、ウインナー、ゆでたまご、野菜スープ、サラダ、ブルーベリーヨーグルト

9/16
げつようび

幸せの黄色い手ぬぐいとともに…

台風で雨と風いっぱいのリフレッシュツアーでしたが、来年の「再会」をイメージしてという訳で、子どもたち全員に、しあわせの黄色いハンカチならぬ黄色い手ぬぐいのお土産を用意しました。

たまねぎの皮をいっぱい集めたのを草木染にし、更にはちみつ会のロゴマークの印鑑を押しました。

今回、大活躍の大学生ボランティアの方たちが、一人ひとりにメッセージも書いてくれたカードも添えて。

つかってこれてるかな…… (八木)



「町田の森あそびツアー第2弾」に参加して下さった皆さんから

*お書きいただいたアンケートから匿名で抜粋させていただきました

<福島に参加者の皆さんから>

- ◇ ほんとうに楽しくのんびりさせて頂きました。スタッフの皆様、優しくて、ほんわかしてて、くつろげました。遊びも種類が豊富にあって、雨でも全然子供をあきさせないスケジュールで工作を楽しんでいました。ゆびあみ、楽しかったです。キャンドルファイヤーのゲーム、楽しくていい経験でした。(Kさん)
- ◇ ゆっくりのんびり(整体など)できてよかったです。子供は、普段の運動不足が解消されて、身も心もはずんでいたようです。牛山先生ともお話しする機会に恵まれ、今後、相談の道筋も開かれ、地元でひとりぼっちでいるよりは、つながりが得られたのが心強いです。(Mさん)
- ◇ 雨で室内で過ごす時間が多かったのですが、子供たちは本当に楽しそうで、その姿を見て、親の私もリフレッシュになりました。木工やゆびあみなど、楽しい良い経験でした。ジェラート、落語、飛び入り(の企画)で楽しかったです。(Jさん)
- ◇ 子供たちも、ほかの子供たちと仲良く楽しく遊んでいてリフレッシュできたと思います。大人もすごーくのんびりできました。整体も出来て、体の疲れもとれて、とても良かったです。食事もとてもおいしかったです。また参加したいです。(Hさん)
- ◇ 天気が悪く、外遊びはできませんでしたが、いっぱい走ったり、体を動かすことができました。本当にありがとうございました。すごく楽しかったです。もっと多くの川俣の方たちに参加してほしいです。一回も来たことのない方、優先で。(Sさん)
- ◇ お友達のお母さんとも話をたっぷりできました。ゆっくりさせて頂き、ありがとうございました。整体もとても良かったです。(Tさん)



<ボランティアに参加された皆さんから>

- ◇ なかなか被災地の子供たちと関わる機会がないので、とても貴重な体験をさせていただきました。子供たちの話を聞くと、学校の遊具が放射能の影響で使えないということに対して、すごく残念な気持ちになりました。そういう話を聞くと、このような機会は本当に大切だと思いました。またこのような企画があれば、参加したいです。(Kさん)



- ◇ 今回は初めての参加で保育をしました。子供たちは自分たちでどんどん楽しみを見つけてお友達とのかかわりもうまくやっていたので、側でフォローする形でした。年齢幅が大きかったので心配でしたが、鬼ごっこやドッジボール、白玉団子づくりは(その他工作など)みんな目がキラキラして、とてもいい企画だったと思います。あいにくの雨でしたが、絵本読み、手遊



び、落語など、インドアの企画も、子供たちは集中して、親御さんも一緒にリラックスして楽しめました。(Tさん)

◇ 1日目、食事担当の方たちをはじめ、その他ボランティアの方々も優しく熱心に手順を教えて下さり、とても楽しく和気あいあいとできました。おいしく食べている笑顔を見れたときは嬉しかったです。2日目は保育を担当させていただきました。皆すごいパワーがあって、圧倒されましたが、その笑顔を見ていると、疲れも取れ、癒されました。こんなに遊びたい盛りの子供達ですが、その遊べる環境が失われていると思うと、胸が痛くなりました。今回このボランティアに参加できて本当に良かったです。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。(Yさん)

その他、福島の方、ボランティアの方から、たくさんのアドバイスを頂きました。ありがとうございます。はちみつ會は、参加者の皆さん自身の声・手で、より楽しい企画に成長させていきたいと思っています。今後も、企画・会議等、多くの方のご意見・ご参加をお待ちしています！（田中）

2013年9月14～16日

「福島の親子・町田の森あそびツアー第2弾」にご協力いただいた皆様

*後援 町田市、社会福祉法人町田市社会福祉協議会

*協力（順不同） ラ・リチェッタ、整体処りら福、カラダノミカタ、福島こども支援・八王子、町田市福島県人一心の会、きつねはらっぱ冒険遊び、学生ボランティア団体 あおぞら生活クラブ運動グループ町田市地域協議会

*助成 大和証券福祉財団

その他、多くの皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

はちみつ會では、これからも、福島の親子の保養企画をおこなっていきます。

ひきつづき、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

原発事故を振り返って思うこと

福島市在住、K

爆発直後は放射能が人にどう作用するのか、どのくらいの数値が恐ろしいのか、など、無知で大したことないと思っていました。でもエアコンは使わなかったり窓は開けなかったり、外出を控えたりはテレビの言う通りにしました。でもそれがいつまでなのか、そしてやり続けられるのか全てが曖昧で途方もなく感じました。そんな中ガソリン入れるのに5時間も車中で待ったり水を汲みに行ったり、今考えれば始めから行動全てが自己責任で、被害者でした。

私はどうして福島で生まれ育ったのかなとか、自分が子育てしてる時期にこんな不運に会わなくても…とか先が真っ暗で気持ちが毎日暗く沈んでいました。テレビのテロップの線量は23マイクロシーベルトもあって、その数字の恐ろしさを今は理解できます。避難と言っても放射能の知識がないので危機感がなく、そのまま市民、県民がとどまっているのだから、全く考えもしませんでした。危険ならば行政から指示があるだろうという前提でいましたから、そんなただの一般市民な自分達は、振り返ると哀れだなと思います。

いまだに県産の野菜は買いませんし、洗濯物もあの日からずっと室内干しです。罪悪感を感じながら外を歩き、遊ぶ公園も選び、室内ばかりで思いきり外で遊ばせることができません。自分で年間線量を下げないといけませんから春休み、夏休み、冬休みは複数の保養に参加しています。

市や県は面子を保つためだけの検査や放射線の勉強会などを時々開いたりしてるだけで、基本的には指示も何もなし、何かしてもらった記憶はありません。行政は人口流失や風評被害、結局経済損失を気にして動くので、民の立場になるわけがありません。でもそれはその上の国がそうだからだと思います。国が県に手を差し伸べて国民を守ってもらわないと県民、市民、町民…が守られません。この国で生活する限り自己責任なんだなあと痛感させられます。

望むのはやはり賠償金と保養の義務です。放射能被害に遭ってから、確実に余計な出費、精神的負担があり、また、肉体的負担、不調、将来病気を患う可能性を持ってしまったのですから、暮らしていくための休息、年間線量を下げ、体を健康に保つための県外への保養を、支援し義務付けて欲しいと思います。

御礼と次回企画のご案内

皆さまのご協力によって、2回目の保養キャンプを無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。

思えば保養企画を始めるきっかけは、2011年3月11日の大震災によって、福島では消費されない、関東向けの発電所の事故による放射能被害を知って、福島で困っている人たちがいることを知っていたながら何も出来ずに焦っている自分が「小さなことでも何か出来ないだろうか」と思ったことが始まりでした。

僕の場合、一人では本当に何も出来ない人間です。しかし福島の人役に立てるなら…とと思っている人が、一人、また一人と集まれば何かが出来ると信じていました。1回目を迎えるまで、こんなことが本当に出来るのだろうか…という不安も同時にありましたが、声を上げれば人は集まるという不思議な確信もありました。

おかげさまで輪が少しずつ広がって、多くの方々と知り合い、それぞれの得意分野を生かしていただきました。自分が出来ることを受け持ち、自分が出来ないことは、それを得意とする人をお願いすること。それは特別なことではなく“子供と遊ぶこと”や“食事をつくること”、または“寄付”だったりします。僕は美味しい料理は作れないですし、子供たちと上手に接することに自信がありません。何も出来ない僕は、事前準備と当日は雑用係で“荷物運び”や“見回り”となりました。それぞれが出来ることを持ち合わせ、一緒に協力出来たことで初めて成功しました。

この成功は皆さんの成功です。今後も皆さまのご協力が無ければ、福島のご家族をお迎えすることはできません。

福島は今も終わっていません。子供たちが歩いている通学路の脇で除染作業が行われ、埃を吸い込むのではないかと不安を感じている親御さんがいます。自転車の練習をして転んで埃を吸ったり、膝を擦り剥いた傷口から放射性物質が入ってくるのでは…と不安を感じている親御さんもいます。おたまじゃくしを見つけても触れることを控えています。風に舞った埃が雨粒として降下する不安で雨にうたれないように気を付けている方もいます。子供たちにとって楽しい場であるはずの森にも入れません。

どれも震災前は“当たり前”に出来ていたことです。その“当たり前”を、大地沢に来れば体験できます。この当たり前のために、この企画は長く続けたいと思っています。福島の親子の参加募集開始から30分で定員になってしまったことから、必要とされていると実感しました。

そのためには、今後も皆さんの協力が不可欠です。

あまり難しく考えず、福島の参加者さんと楽しく交流しながら続けていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。

はちみつ會代表 横山正浩

<次回のご案内>

次の保養は2014年5月3日(土)～6日(火)です。

気候も天気の良い日が続き、大地沢の池ではおたまじゃくしが泳ぎ回る時期です。

皆様のご参加・ご協力をお待ちしています。



[問合せ・申込先] TEL080-8898-7860 (やぎ) E-mail hachimitsukai@yahoo.co.jp